

資料1-3

平成31年度 えいも地域ゼニガタアザラシ 被害意識調査

令和元年7月19日

1. 業務の目的

本業務では、漁業者の被害意識の調査結果から「えりも地域ゼニガタアザラシ特定希少鳥獣管理計画」に基づく事業の効果について評価することを目的とした。

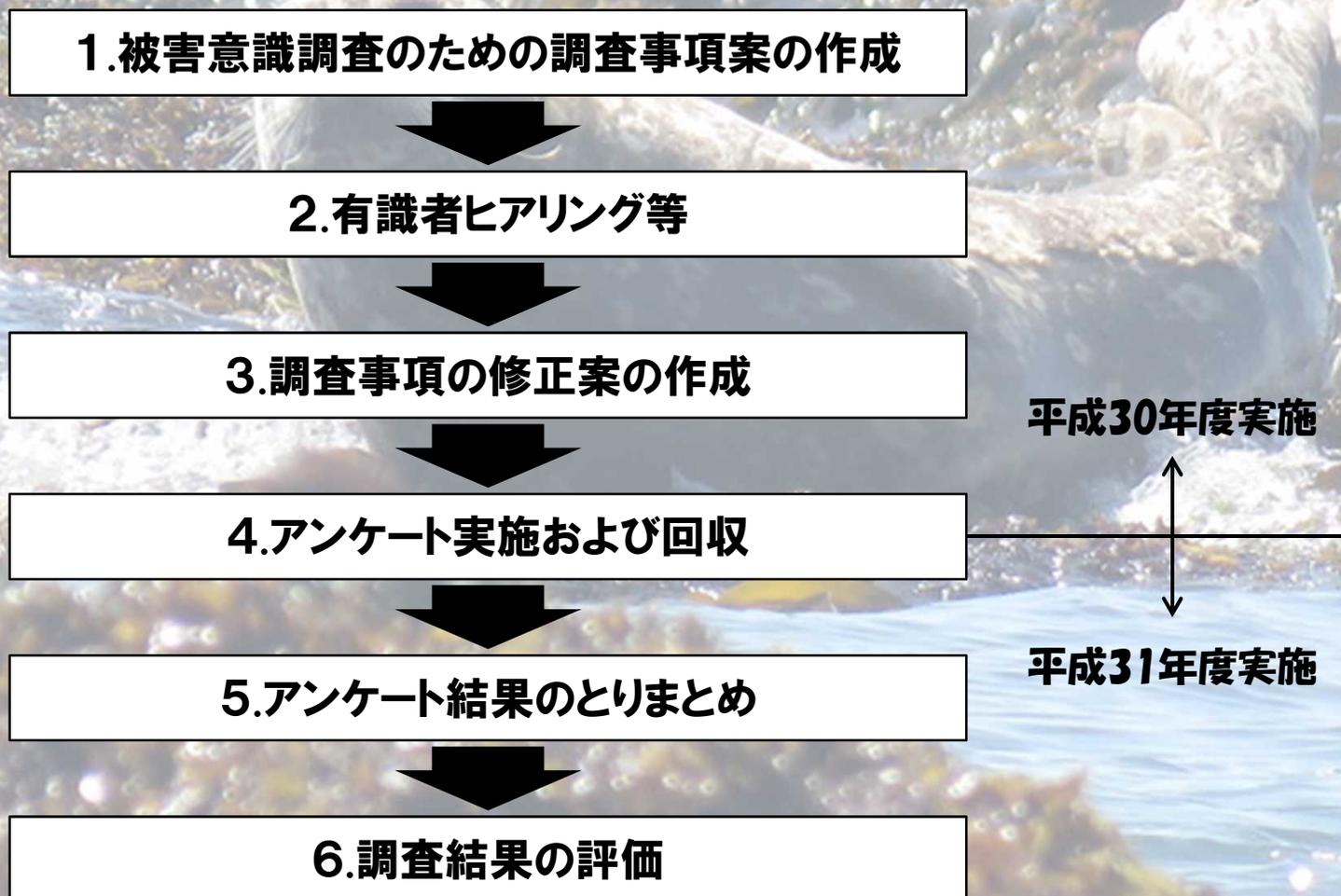


図 作業フロー

2. 調査結果の評価

2-1 評価の手法

アンケート結果の評価にあたり、全体の傾向および各地区の傾向が把握できるように集計した。

また、各地区の回答傾向を把握するために、アンケート調査などのクロス集計表(行と列からなるデータ)を散布図にして見やすくするコレスポネンス分析(対応分析)を用いた。

なお、散布図は、偏りの小さい項目は原点付近に偏りの大きい項目は原点から遠くに布置され、互いに関連の強い項目同士は、原点から見て同一方向・近い位置にプロットされる。

2-2 アンケート対象者の属性・年齢について

【属性】

項目	地区別回答数					
	冬島	近笛	本町	東洋	襟裳岬	庶野
①経営者 (代表など)	5	5	2	4	3	3
②乗船作業者 (船長など)	23	51	41	14	17	44
③どちらにも 該当	1	0	0	4	0	3
計	29	56	43	22	20	50

【年齢】

項目	地区別回答数					
	冬島	近笛	本町	東洋	襟裳岬	庶野
①10~20代	5	5	4	1	4	4
②30代	7	12	10	3	6	14
③40代	6	12	7	3	2	13
④50代	4	14	16	5	6	12
⑤60代	9	13	4	9	5	7
⑥70代以上	0	0	1	1	3	0
計	31	56	42	22	26	50

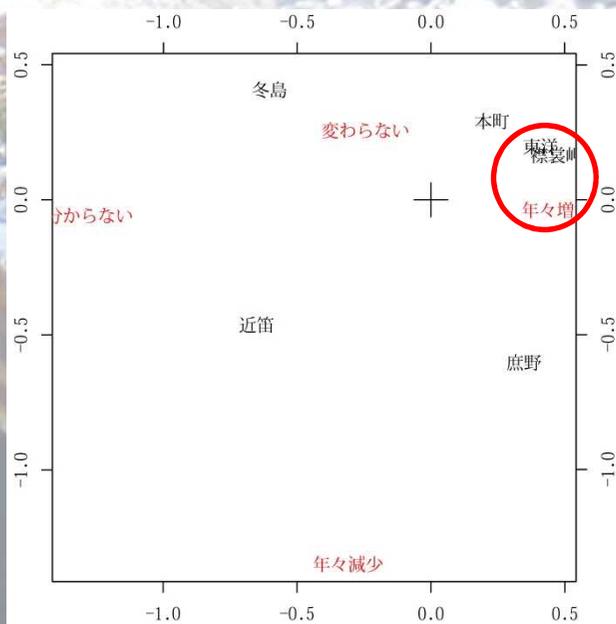
※集計結果については、一部未記入の箇所があったため、計が一致しない場合がある。

2-3 えりも全域について

問1:ゼニガタアザラシの間引き(捕獲)によって、えりも地域全体でゼニガタアザラシの頭数に変化はありますか(感覚的に)。

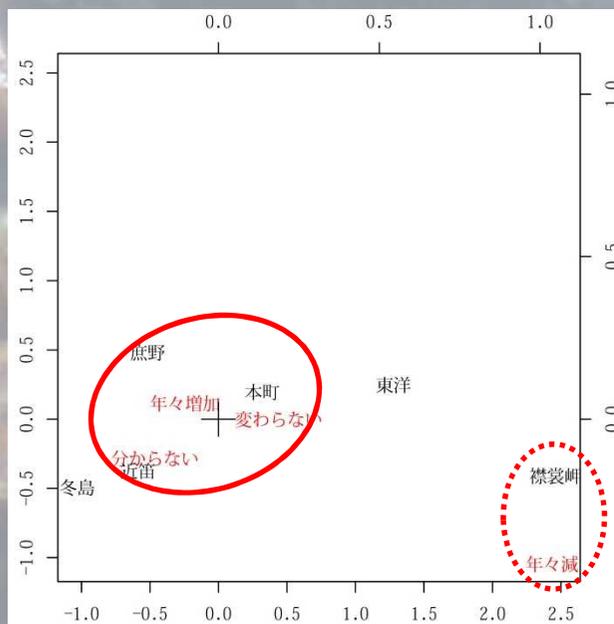
- ⇒ 襟裳岬におけるゼニガタアザラシの最大上陸個体数は減少傾向を示しているが、経営者乗船作業者ともに『年々増加傾向にある』または『あまり変わらない』と感じている人が多い。
- ⇒ 地区別にみると、襟裳岬地区で『年々増加傾向にある』と感じている経営者が複数いるのに対し、1名ではあるが『年々減少傾向にある』と感じている乗船作業者がいる。

【経営者】



【奇与率】第1軸:60.6%、第2軸:38.4%

【乗船作業員】



【奇与率】第1軸:77.7%、第2軸:11.7%



出典:『平成31年度 環境省えりも地域ゼニガタアザラシ管理事業計画(暫定版)(案)』

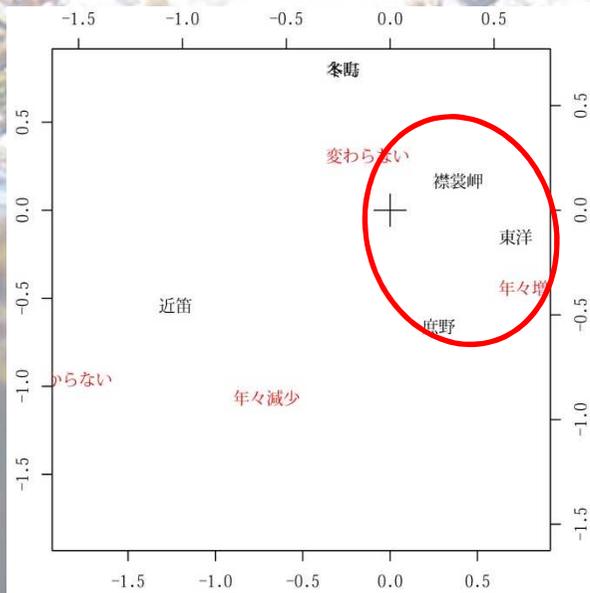
参考:襟裳岬におけるゼニガタアザラシの最大上陸個体数

2-4 各ヶ統について

問2:ゼニガタアザラシの間引き(捕獲)によって、ご自身の網場(ヶ統)で見かけるゼニガタアザラシのゼニガタアザラシの頭数に変化はありますか(感覚的に)。

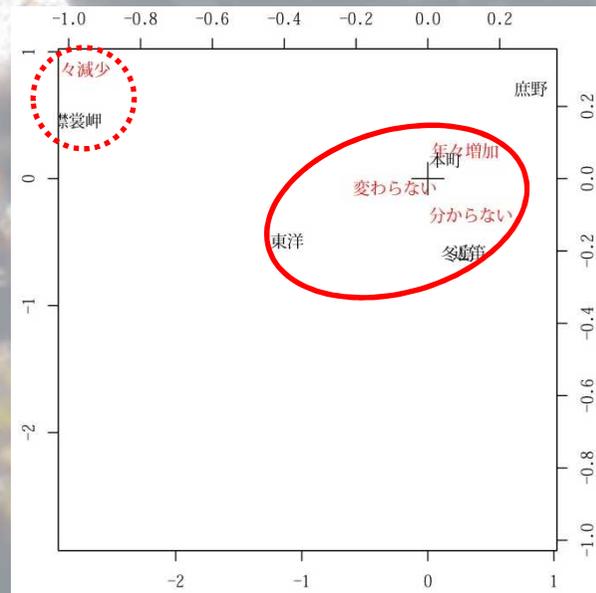
- ⇒ 基本的に、『えりも全体について』感じていることと同様に、各ヶ統周辺でも経営者及び乗船作業業者ともに『年々増加傾向にある』または『あまり変わらない』と感じている人が多い。
- ⇒ 地区別にみると、襟裳岬地区では『年々増加傾向にある』と感じている経営者及び乗船作業業者が複数いるのに対し、1名ではあるが『年々減少傾向にある』と感じている乗船作業業者がいる。
- ⇒ また、秋サケの被害尾数が多い東洋、襟裳岬、庶野の経営者に『年々増加傾向にある』と感じている人が多い。

【経営者】

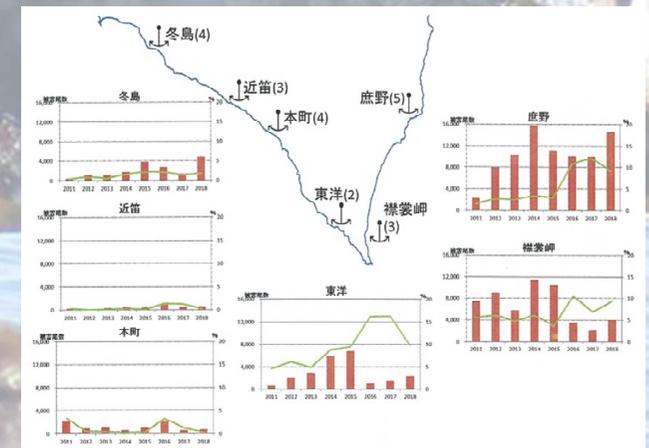


【寄与率】第1軸:54.9%、第2軸:38.8%

【乗船作業員】



【寄与率】第1軸:71.2%、第2軸:20.5%



出典:『えりも地域ゼニガタアザラシ特定希少鳥獣管理計画』

参考:地区別の秋サケ定置網の被害状況
※カッコ内の数字は、定置網のヶ統数を示す。

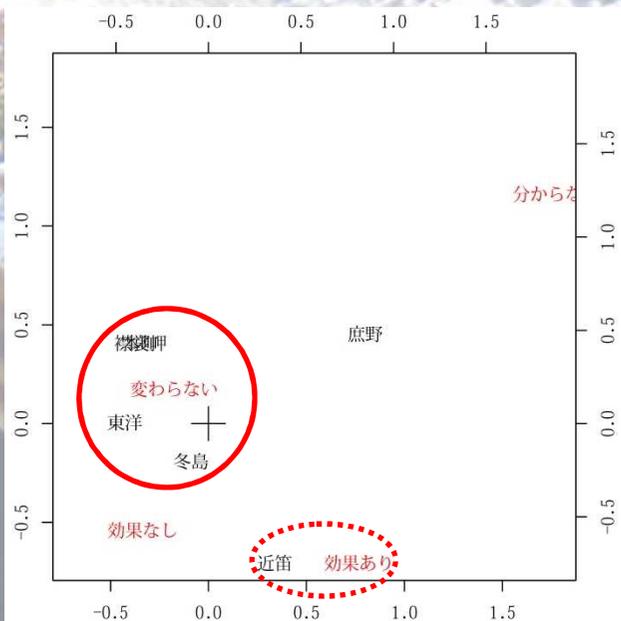
問3:ゼニガタアザラシの間引き(捕獲)は、ゼニガタアザラシによる被害の軽減に効果があったと思いますか。

⇒ 秋サケの被害尾数および被害割合ともに年変動はみられるが、感覚的には『あまり変わらない』または『効果はなかった』と感じている人が多い。

⇒ 襟裳岬におけるゼニガタアザラシの最大上陸個体数は減少傾向を示しているが、経営者乗船作業者とともに『年々増加傾向にある』または『あまり変わらない』と感じている人が多い。

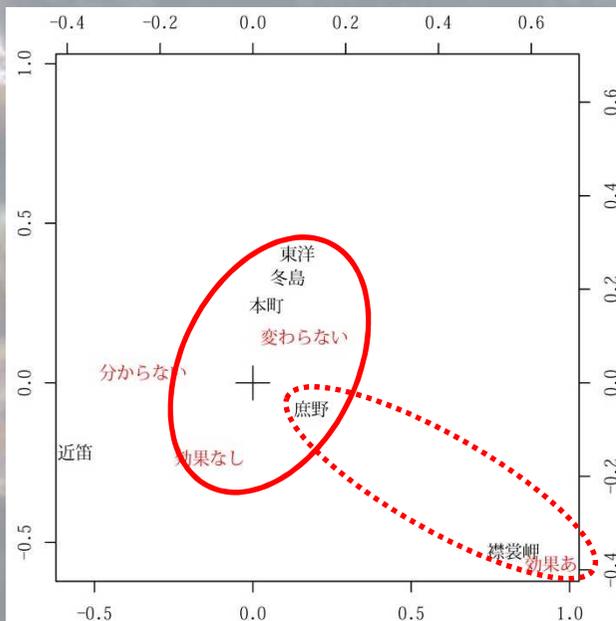
⇒ 地区別にみると、近笛地区の経営者及び庶野、襟裳岬地域の乗船作業者で『効果あり』と感じている人がいる。

【経営者】



【寄与率】第1軸:51.0%、第2軸:39.6%

【乗船作業員】



【寄与率】第1軸:51.6%、第2軸:25.2%



出典:『平成30年度 第2回ゼニガタアザラシ科学委員会資料』

参考:えいも地域における秋サケ定置網の被害状況

問14:今後、どのような対策に効果があると考えられますか。

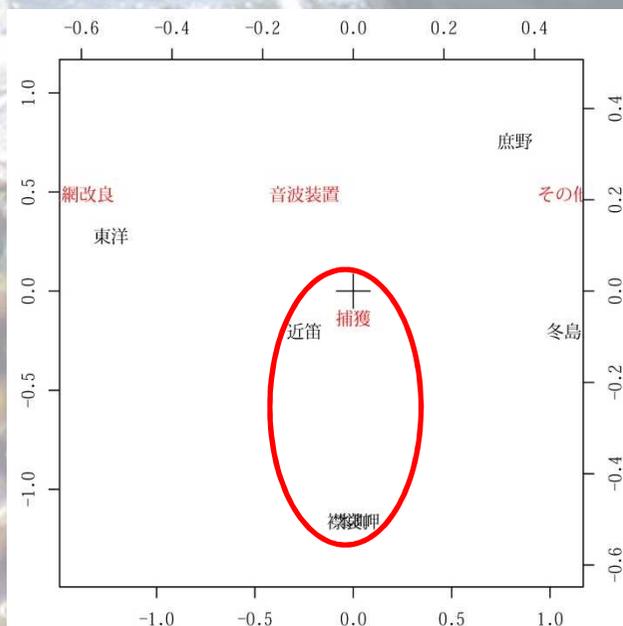
⇒ **効果があると思われる対策については、『捕獲(間引き)』を挙げる人が大半であり、『漁網の改良』や『音波忌避装置の設置』を挙げた人も『捕獲(間引き)』と複数回答した人が多い。**

⇒ **地区別にみると、東洋及び本町の乗船作業者に『その他』を挙げた人が複数いる。**

【その他の提案】

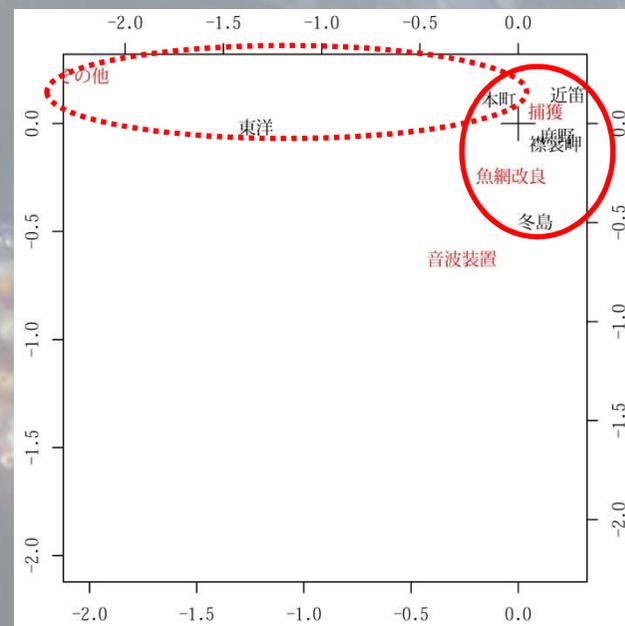
- ◆岬周辺のアザラシはもちろんだが、岬以外のアザラシもその場所(地区)で繁殖して増えて困るので、駆除してもらいたい。
- ◆もっと捕獲する。
- ◆居なくしてほしい。
- ◆殺処分(半数くらい殺す。)

【経営者】



【寄与率】第1軸:57.3% 第2軸:24.3%

【乗船作業員】



【寄与率】第1軸:76.9% 第2軸:15.4%

問17:その他の意見・要望など

【個体群管理(間引き)について]

- ◆もっと個体数を減らしてほしい。(他 10名)
- ◆個体数に応じて、捕獲数を増減してほしい。
- ◆観光目的で保護してるなら現在の頭数は必要ないし、漁業者は今の状態では満足しない。100頭以下が妥当だと思う。元々国が絶滅危惧種に指定して、これだけ増やしておいて殆どと言っているほど何もしてこなかった。やっとこの2、3年、本腰を入れた格好に思える。でも、漁業者はそれでも納得はしないです。
- ◆出生率と間引きの%が当たっているのか、しっかりと調査してやって頂きたい。(他 2名)
- ◆成体をもっと減らす必要があると考える。

【漁網(格子網など)について]

- ◆要らない。
- ◆よく分からない。(他 1名)
- ◆もっと色々な素材(色)を試してみてもいいと思う。
- ◆網の素材や色等、もう少し改良してほしい。

【環境省の音波忌避装置について】

- ◆アザラシも嫌がるかもしれませんが、魚も網に入らない(魚も嫌がる)と思います。
- ◆よく分からない。(他 1名)
- ◆要らない。
- ◆必要と思うが、いいものを開発してもらいたい。

【その他】

- ◆トド、オットセイなどが見かけるようになった。
- ◆漁業被害の補償、観光資源と捕獲等の両立。
- ◆漁師を生かすのか、アザラシを生かすのか、もう少し考えて欲しい。
- ◆春・秋定置で被害がありすぎる。